



# みなみの風

坂下南小学校  
学校だより  
NO. 3  
R6. 4. 15  
(文責:校長 菅家 篤)

ドリーム & チャレンジ! ~あいさつ・はっぴょう・なかまとじぶん~

## 鉛筆や箸の持ち方どうですか？

最近気になっていることがあります。それは、子どもたちの鉛筆や箸の持ち方です。各教室を回って授業や給食の様子を参観するのですが、鉛筆や箸の持ち方が身に付いていない子が少なくありません。

私が大学生の時、大学の先生から「箸と鉛筆の持ち方は躰と教養だから」と言われたことを今でも覚えています。「躰」とは「身が美しい」と書き表しますが、よい箸の持ち方をしている人を見ると、確かに食事の所作が美しく見えます。鉛筆も良い持ち方をしていると無理のない力で字形を整えて書くことができます。

お子さんの鉛筆や箸の持ち方はいかがですか？



なかなか  
むずかし  
いなあ...

1年生が書写の授業で  
鉛筆の持ち方を学習  
していました。(4/12)

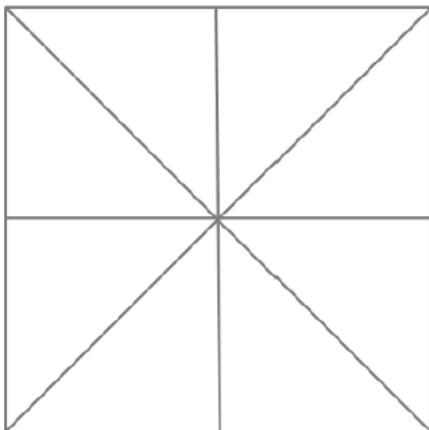


### ドリーム & チャレンジ! 企画

## 校長先生から6年生への挑戦状!

### 校長先生からの挑戦状!

下の図の中に、たくさんの漢字がかくれています。  
君たちの学級では、漢字をいくつ見つけられるかな!



学級全員の知恵を出し合い、チャレンジする「校長先生からの挑戦状!」(左掲載)を6年生に届けました。

今回の挑戦は、左に示した四角い図形の中に隠れている漢字をどれだけたくさん見つけられるかです。

ちなみに、めざす目標は次のとおりです。

**<6年生> 目標 40字**

この取組を通して、学校のリーダーである6年生に知的な「活気」が生まれたらいいなと願っています。

40字以上を目指し、学級一丸となってチャレンジする中で「なかまとじぶん」を高めていってほしいと思います。

おうちの皆様も、どんな漢字が隠れているか、お子さんと一緒に考えていただければ幸いです!

**6年生の挑戦を待っています!**

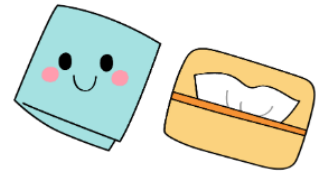
# 自分のことがきちんとできる力を育てる

## ハンカチは、誰が用意していますか？

「ハンカチ忘れた人、手をあげてください。」

・・・「ハイ」と1, 2名ほど・・・

「あのね、先生、お母さんがね、ハンカチ入れるの忘れちゃったの。」



これは、私が担任したある学校の低学年の衛生検査でのやりとりです。この話を聞いて、「おやっ」「あれっ」と思わない方はいないでしょう。

この子は、ハンカチを自分で入れていないのですね。そのぐらいのことは自分でするようにしたいものです。お子さんは、言われなくてもハンカチを自分で用意していますか？

## 「歩育」で体も頭も心も元気に！

「歩育」とは、「歩いて自然や社会に触れ、五感を開き、体全体で学ぶ直接体験を通じて、子どもたちの豊かな心や生きる力を育てる」というものです。

徒歩での登下校は「歩育」の一つです。

### 【歩くことのメリット】

#### ① 脚力・体力がきます。

片道1キロを歩くとしたら1日で2 km。1年間続けたら400 km、6年間で2400 km。歩くだけで自然と体力がきます。自然とお腹も空き、食欲も出て、質の良い睡眠につながります。

#### ② 挨拶ができます

登下校中、出会った人と挨拶ができます。交通指導員さん、見守り隊の皆様、地域の方ともコミュニケーションをとることができます。

#### ③ 感性が育ちます

咲いている草花、肌にあたる風、四季の移り変わりを感じることができます。

#### ④ 縦の関係ができます

他の学年との関わりで、様々なことを学ぶことができます。

#### ⑤ 始業前に体を温めることができます（脳の活性化）

歩いて登校することにより、全身が温まり、血液が循環し脳に十分な栄養も補給されます。学習前のウォーミングアップとしてよい影響を与えることができます。

※ バスで登校している子どもたちも、色々な機会を見つけながら、日常生活の中で「歩くこと」や「運動すること」を意識し、生活に取り入れてほしいですね(^-)-☆



雨の中を歩いて登校する子どもたち。歩きながら様々なことを学んでいます。



学校のブログを日々更新しています。学校生活の一端を写真で紹介しておりますのでご覧ください！